

株式会社NTTデータ エービック

金融機関向けASPサービスの基盤を 信頼性の高いクラウドサービスで刷新

absonneを活用して事業拡充に集中できる体制を構築

■要件

金融機関向けASPサービス「Web @sset Manager」の基盤を最新の技術・製品で刷新する。事業環境の変化に柔軟に対応できる仕組みを採用するとともに、運用管理のレベルと効率を向上させる。

■ソリューション

新日鉄ソリューションズのクラウド・コンピューティングITインフラサービス「absonne (アブソンス)」を活用。24時間対応の運用管理を行い、性能や可用性の高い基盤を月額制サービスとして導入する。

■成果

事業環境に応じて柔軟にリソースを追加できる基盤を、導入コストやシステム運用負荷を抑制しながら実現できるめどがついた。今後予定している事業の拡張でも積極的に活用していく計画である。

金融機関向けのASPサービスで柔軟性の高い基盤への更改を検討

金融機関向けの投資信託情報の配信および関連パッケージの販売を主力事業とするNTTデータ エービック (旧エービック)。投信評価機関の認定を1997年に受けるとともに、各種サービスを全国の地方銀行を中心とする顧客に展開している。

特に、2001年に開始したASP (アプリケーションサービスプロバイダ) サービス「Web @sset Manager」は、同社の事業の根幹に位置付けられる。

取締役副社長 COO (最高執行責任者) の沢渡裕二氏は「高い分析力で評価した情報を提供しており、全国の地方銀行のうち約50行へ導入するなど、トップシェアを持っています」と語る。

同サービスの基盤更改が検討されたのは2008年ごろである。サービス開始から年月が経過し、老朽化を含めた各種課題が浮上していた。

最も重視した課題は、事業環境の変化に対する対応力の向上と運用負荷の軽減だったという。

執行役 LB開発グループ グループリーダーの岡村光己氏は「利用者数の増加やサービス拡充の際、ディスク容量やサーバー台数を柔軟に増やせる基盤を求めています」と振り返る。

執行役 システム開発グループ グループリーダーの五十嵐敬次郎氏は「基盤を刷新すると同時に、運用管理を外部委託して、アプリケーションの開発に専念できる体制を作りたいと考えていました」と語る。

課題の解決に向けて、2009年9月にはパートナーの選定が始まった。そして、技術的な評価項目に基づいて最終的に選択したのが、新日鉄ソリューションズのクラウド・コンピューティングITインフラサービス「absonne」である。

NTTデータ エービックがabsonneを評価した点は三つあった。

①機能やサービスの拡張に応じて柔軟にリソースを確保でき、利用した分のコストを月額制の料金で負担すれば済む、②高い基盤エンジニアリング力と高品質な運用サービスを

利用できる、③コストパフォーマンスが高い——ことである。

クラウド型のabsonneを選択NSSOLの体制にも高い評価

五十嵐氏は、運用サービスにおける障害発生時の対応内容も重要だったと語る。

「障害の原因がわれわれの作ったアプリケーションにあるのか、クラウドサービスで提供する基盤にあるのかを調べる作業は非常に厄介です。しかし、新日鉄ソリューションズのabsonneでは、アプリケーションと基盤の境界領域で発生するような障害についても、共同で取り組んでくれるなど、手厚いサポートを提供してもらえます」

岡村氏は「提案段階でも、ご担当の皆様には多数足を運んでいただきました。打ち合わせの内容も充実しており、こちらが持っていた多数の要望を、整理して具体的な形にいただきました」と評価する。

加えて、新日鉄ソリューションズは、早い段階から第一線のプロジェクト



株式会社NTTデータ エービック 執行役 LB開発グループ グループリーダー 岡村 光己氏



株式会社NTTデータ エービック 執行役 システム開発グループ グループリーダー 五十嵐 敬次郎氏

マネージャを打ち合わせに参加させて、構築プロジェクトの進め方を具体的に説明した。

選定を受けて、構築プロジェクトは2010年1月に始まった。

absonneでは、新日鉄ソリューションズで検証・用意したハードウェア上に、要望に応じたミドルウェア類を導入して提供する。要件定義は1月中旬に終わり、2月末に基本設計が、4月末に詳細設計がそれぞれ完了。6月末には、構築した基盤の引き渡しを行った。absonneの基盤上で稼働する新しいWeb @sset Managerのサービスは10月に始まる予定だ。

新日鉄ソリューションズは、構築プロジェクトを非常に積極的に進めたという。

五十嵐氏は「当社がOSやミドルウェアなどに関する膨大なパラメータを検討し、その通りに実装するのではなく、システム設計から運用設計までにわたって新日鉄ソリューションズは適切な提案を行ってくれました。その分、われわれはアプリケーション開発に専念することができ、非常に

■コアテクノロジー

クラウド・コンピューティング、absonne (IaaS)、運用サービス、シンプロビジョニング

●システム概要
●absonneが提供する主な基盤とサービス：ミドルウェア、OS、ハードウェア、ネットワーク、インターネットサービス、データセンター、基盤エンジニアリング、運用エンジニアリング、運用サービス

助かりました」と語る。

思い描いた以上の基盤を設計さらなる事業の拡充に活用したい

クラウドサービスでありながら、設計の自由度もある。

岡村氏は「absonneでは、こちらの要望に応じた、最大限のカスタマイズを検討してくれます。結果として思い描いていた以上の基盤が設計できました」と語る。

NTTデータ エービックのabsonneと新日鉄ソリューションズに関する総合的な評価は高い。

五十嵐氏は「現在、クラウドというキーワードのサービスは多種多様に存在しますが、absonneは企業システム向けクラウドの現実解です」と述べる。

今後、NTTデータ エービックでは、Web @sset Managerを含めた各種サービスのさらなる拡大を予定している。

沢渡氏は「地銀に加えて、信用金庫へユーザーを広げていくなどの計画があります。そうした事業展開の基盤としてabsonneを活用していきます」と語る。

■NTTデータ エービックのシステムと今回強化したWeb @sset Managerの位置付け

